

東北地方 1 か月予報

(7 月 1 5 日から 8 月 1 4 日までの天候見通し)

平成 1 8 年 7 月 1 4 日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方では日照時間の少ない状況が続いています。期間の前半を中心に平年に比べて雨の日が多く日照時間が少ない見込みです。農作物の管理などに注意してください。

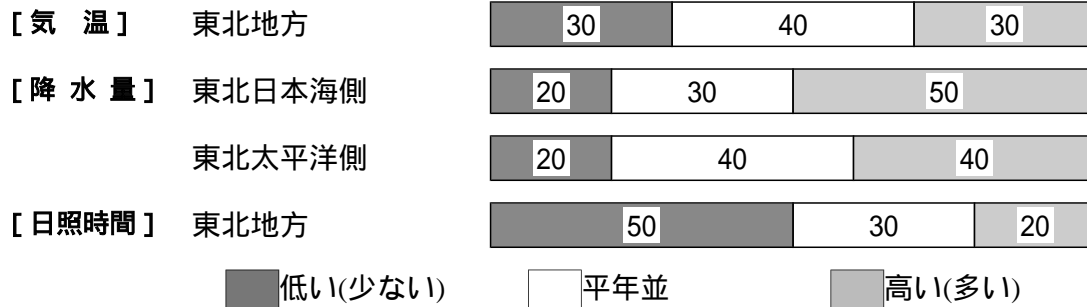
<予想される向こう 1 か月の天候>

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

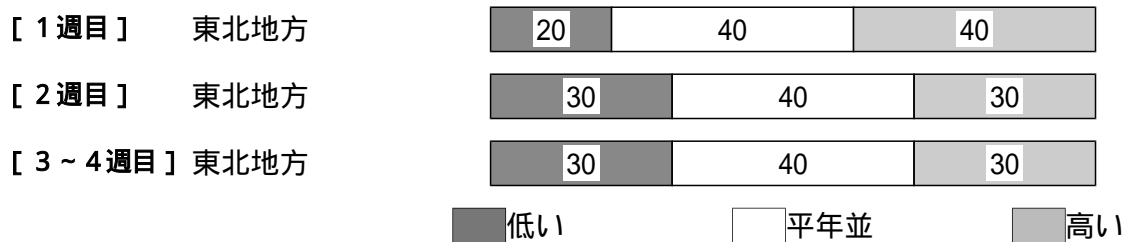
向こう 1 か月の平均気温は東北地方で平年並、降水量は東北日本海側で多い、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北地方で少ないでしょう。

週別の気温は、1 週目は東北地方で平年並が高い、2 週目は東北地方で平年並、3 ~ 4 週目は東北地方で平年並でしょう。

<向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 7 月 1 5 日 (土) ~ 8 月 1 4 日 (月)
1 週目 : 7 月 1 5 日 (土) ~ 7 月 2 1 日 (金)
2 週目 : 7 月 2 2 日 (土) ~ 7 月 2 8 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 7 月 2 9 日 (土) ~ 8 月 1 1 日 (金)

<次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 7 月 2 1 日
3 か月予報 : 7 月 2 5 日 (火) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	22.8	108.8	192.1	21.2	22.6	23.6
深浦	22.9	142.5	191.3	21.5	22.8	23.5
むつ	21.3	112.6	162.1	19.7	21.1	22.1
八戸	22.0	108.3	181.6	20.3	21.9	22.8
秋田	24.3	159.3	195.4	22.9	24.3	24.9
盛岡	23.2	160.2	161.8	21.8	23.2	23.8
大船渡	22.6	151.5	167.1	21.1	22.4	23.3
宮古	21.7	131.9	167.6	20.0	21.5	22.5
仙台	23.7	147.5	152.5	22.1	23.5	24.4
石巻	23.0	110.8	172.9	21.4	22.8	23.6
山形	24.6	136.7	182.1	23.3	24.7	25.3
新庄	23.8	164.9	180.6	22.4	23.7	24.4
酒田	24.7	159.3	212.1	23.3	24.7	25.3
福島	25.0	134.3	158.2	23.5	25.0	25.7
若松	24.7	139.4	198.3	23.5	24.7	25.3
白河	23.2	181.4	154.0	22.1	23.2	23.7
小名浜	23.1	111.4	185.9	21.9	22.9	23.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ～ +0.7	74 ～ 117	90 ～ 112
東北日本海側	-0.6 ～ +0.6	77 ～ 116	92 ～ 112
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.8	76 ～ 118	91 ～ 114

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +1.0	-0.6 ～ +1.1	-0.5 ～ +0.9
東北日本海側	-0.8 ～ +0.9	-0.6 ～ +1.0	-0.7 ～ +0.8
東北太平洋側	-0.9 ～ +1.2	-0.6 ～ +1.3	-0.4 ～ +0.9

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 18 年 7 月 14 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (7 月 15 日～8 月 14 日) :

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は平年並でしょう。

1 週目 (7 月 15 日～7 月 21 日) :

前線や気圧の谷の影響で、雨の日が多いでしょう。
平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目 (7 月 22 日～7 月 28 日) :

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目 (7 月 29 日～8 月 11 日) :

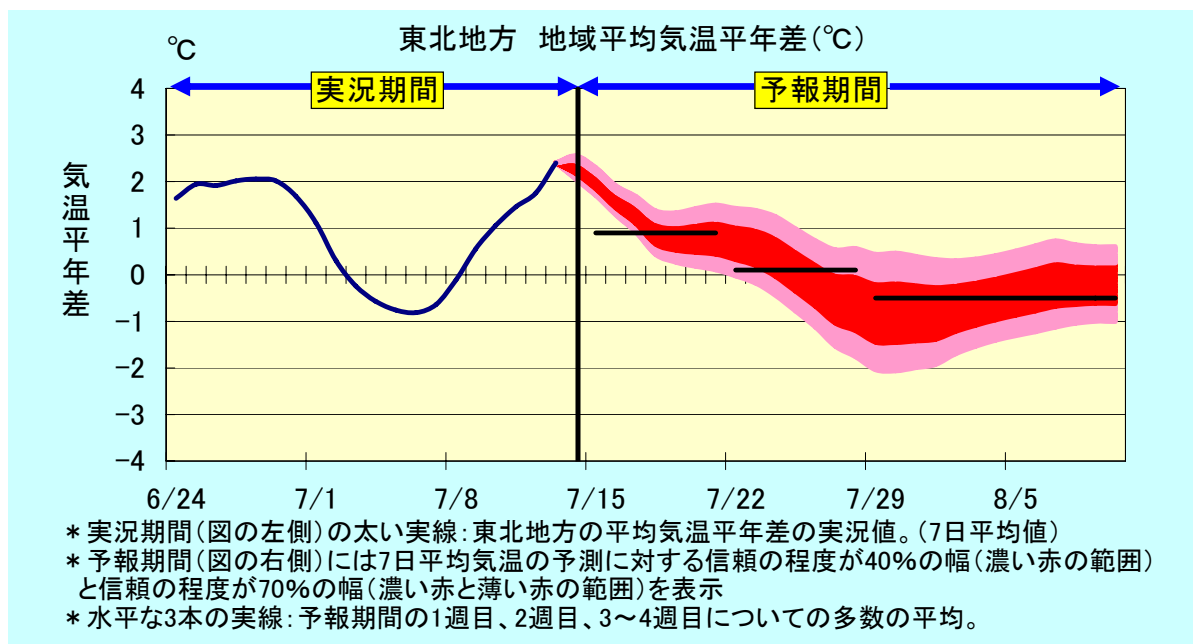
高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。一時寒気の影響で低温になることがある見込みです。
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.6 日	3.3 日	4.0 日	8.3 日
東北太平洋側	13.8 日	2.7 日	3.5 日	7.6 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から 1 週目を「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

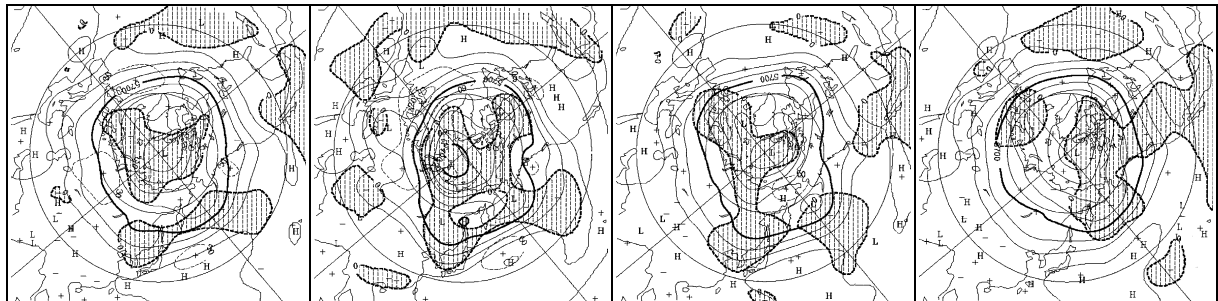


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が負偏差、高緯度付近では正偏差となる。沿海州から北海道、日付変更線以東までの北緯 50 度付近は負偏差だが、本州以南は正偏差で日本の南東の亜熱帯高気圧は強い。

1 週目は、中国東北区、日本海と東北北部、北海道は負偏差で西谷傾向。太平洋側は正偏差で亜熱帯高気圧が強い。2 週目は、月平均とほぼ同様で日本の南東の亜熱帯高気圧は強いが日本付近は中国東北区から北海道まで負偏差で西谷傾向。3～4 週目は、日本付近は広く正偏差で、極付近からアリューシャンの南海上にかけては負偏差。亜熱帯高気圧は日本の南で強い。



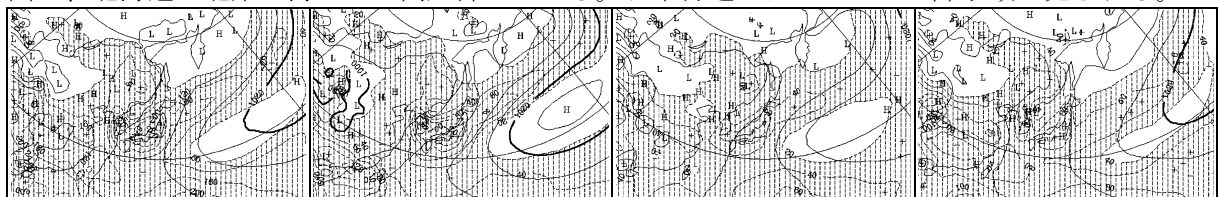
500 hPa 高度予想図（左から）1 か月平均、1 週目平均、2 週目平均、3～4 週目平均

実線：等高線（間隔 60m）、点線：平年差（間隔は 1 か月 30m、週別 60m）、陰影部：負偏差域（一般に寒気に対応）

地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧は強く北へも広がる。日本付近はまとまった降水域がかかり、梅雨前線は東北地方にも影響する見込み。

1 週目は、日本の東から高気圧が張り出し、東北地方にも強い降水域がかかる。2 週目は、アリューシャン列島付近で低圧部となり、太平洋高気圧の日本付近への張り出しは 1 週目に比べて弱まる。東北地方には 60mm 以上の降水域がかかる。3～4 週目は、太平洋高気圧は日本付近へ張り出し、北海道の北東の海上まで高圧部が広がる。日本付近にはまとまった降水域が見られる。



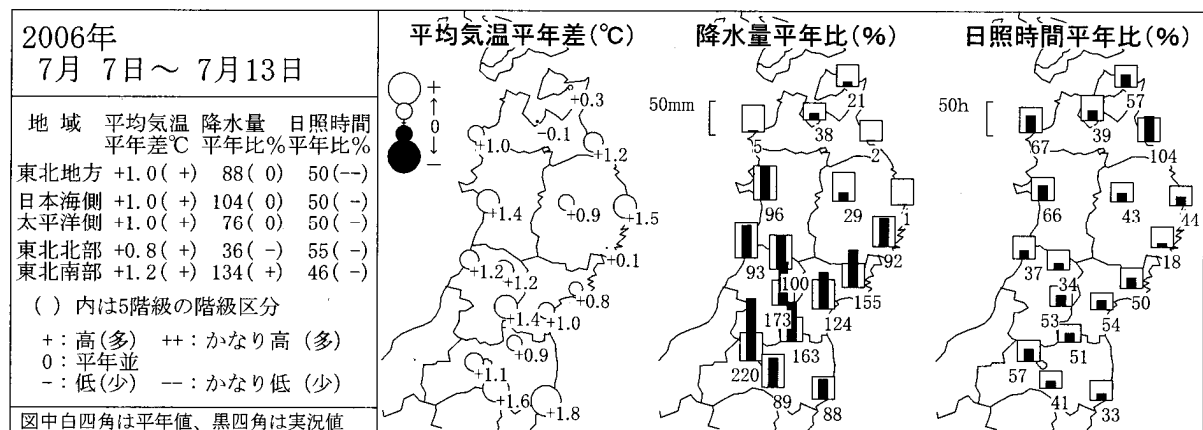
地上予想天気図（左から）1 か月平均 1 週目平均 2 週目平均 3～4 週目平均

実線：等圧線（間隔 4 hPa）、陰影部：降水域（1 か月 80mm 以上、1 週目・2 週目 20mm 以上、3～4 週目 40mm 以上）

4. 最近 1 週間（7 月 7 日～7 月 13 日）の天候の経過

この期間、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。7 日は日本海を高気圧が移動し北高型となったが、上層寒気の影響で青森県を中心に雨のところがあつた。その後は、台風第 3 号から変わった低気圧が日本海で北上したことと梅雨前線のため曇りや雨の日が続いた。13 日には東北南部を中心に大雨となり、山形県では鉄道や道路に土砂崩れによる被害が発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

■ 平成 18 年の梅雨入り					
地方	平成 18 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5 月 14 日ごろ	6 日遅い	12 日遅い	5 月 8 日ごろ	5 月 2 日ごろ
奄美	5 月 13 日ごろ	3 日遅い	8 日遅い	5 月 10 日ごろ	5 月 5 日ごろ
九州南部	5 月 26 日ごろ	3 日早い	16 日早い	5 月 29 日ごろ	6 月 11 日ごろ
九州北部	6 月 8 日ごろ	3 日遅い	2 日早い	6 月 5 日ごろ	6 月 10 日ごろ
四国	6 月 8 日ごろ	4 日遅い	3 日早い	6 月 4 日ごろ	6 月 11 日ごろ
中国	6 月 8 日ごろ	2 日遅い	3 日早い	6 月 6 日ごろ	6 月 11 日ごろ
近畿	6 月 8 日ごろ	2 日遅い	3 日早い	6 月 6 日ごろ	6 月 11 日ごろ
東海	6 月 8 日ごろ	同じ	3 日早い	6 月 8 日ごろ	6 月 11 日ごろ
関東甲信	6 月 9 日ごろ	1 日遅い	1 日早い	6 月 8 日ごろ	6 月 10 日ごろ
北陸	6 月 15 日ごろ	5 日遅い	12 日早い	6 月 10 日ごろ	6 月 27 日ごろ
東北南部	6 月 9 日ごろ	1 日早い	6 日早い	6 月 10 日ごろ	6 月 15 日ごろ
東北北部	6 月 15 日ごろ	3 日遅い	10 日早い	6 月 12 日ごろ	6 月 25 日ごろ

■ 平成 18 年の梅雨明け					
地方	平成 18 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	6 月 20 日ごろ	3 日早い	7 日早い	6 月 23 日ごろ	6 月 27 日ごろ
奄美	6 月 20 日ごろ	8 日早い	7 日早い	6 月 28 日ごろ	6 月 27 日ごろ
九州南部	-----	-----	-----	7 月 13 日ごろ	7 月 15 日ごろ
九州北部	-----	-----	-----	7 月 18 日ごろ	7 月 17 日ごろ
四国	-----	-----	-----	7 月 17 日ごろ	7 月 16 日ごろ
中国	-----	-----	-----	7 月 20 日ごろ	7 月 18 日ごろ
近畿	-----	-----	-----	7 月 19 日ごろ	7 月 18 日ごろ
東海	-----	-----	-----	7 月 20 日ごろ	7 月 18 日ごろ
関東甲信	-----	-----	-----	7 月 20 日ごろ	7 月 18 日ごろ
北陸	-----	-----	-----	7 月 22 日ごろ	7 月 18 日ごろ
東北南部	-----	-----	-----	7 月 23 日ごろ	8 月 4 日ごろ
東北北部	-----	-----	-----	7 月 27 日ごろ	8 月 4 日ごろ

注)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。
- ・「平年」は、平成 12 年(2000 年)までの過去 30 年の平均(入り・明けを特定しなかった年は除外)の日付です。
- ・このページの更新は平日に行います。情報発表日が休日の場合は休日明けの更新となります。